【総合戦略の概要】

「人口ビジョン」による分析を基に、ビジョンに掲げる**将来展望の実現に向けた目標や今後5年間(平成27年度から平成31年度まで)の取組**をまとめたもの。

【人口目標】

第3次静岡市総合計画に掲げる

2025 年に

総人口70万人を維持

を目指す

- ○合計特殊出生率
- →2040 年に 2.07
- ○社会移動
- →次のターゲットの転入増、転出 減を図る。
- ・若年層(18-25歳、特に女性)
- ・中堅層(30-40歳代、特に女性)
- アクティブシニア層(55-65歳)

【未来市民】

従来の取組だけでは、市民になりえ なかった方々を「未来市民」と総称 し、増やしていく。

- ①これから生まれてくる市民 出生数を増やす・出生率を高める
- ②これから移住してくる市民 市外からの転入者を増やす
- ③これからも住み続ける市民 市外への転出者を減らす

【戦略の推進】

- ・KPIにより客観的な視点から評価 し、PDCAサイクルで見直しや改善
- ・必要なデータ等について、調査を行 いKPIの見直しや追加を検討

戦略 (基本目標)

「まち」の存在感を高め、交流人口を増やす||・豊かな地域資源:大道芸、徳川|

市区町村魅力度ランキング:70位以内 関連施設・イベント入込客数:9,443千人以上 ぜひまた訪れたいと思う来訪者の割合:60.0%以上

「ひと」を育て、「まち」を活性化する

地域や社会をよくするために何をすべきか 考えることがある児童・生徒の割合:

県内のCOC+参加大学における県内就職率:

静岡市の強み

- 家康公など
- ・静岡市の日本一(食):茶、冷凍 まぐろ、しらす、さくらえび、 わさび、葉しょうがなど
- 人柄がのんびりしている
- ・高校年代の県外大学進学希望者の Uターン意向は37.8%

施策の方向

- ・認知度を高める
- ・交流人口を増やす

重点事業

- ①「まちは劇場」推進事業
- ■②徳川家康公400+(プラス)事業
- ③観光交流活性化推進事業

小学校 42.0%以上、中学校 32.0%以上、高等学校 51.0%以上

各大学 10%以上向上

など

- ・地域への愛着の醸成
- ・市内産業が必要とする人 材を育成する
- ①しずおか学生等就職サポート事業
- ②産学官連携による人材育成COC+推進

「しごと」を産み出し、雇用を増やす

企業立地件数:85件(2015-2019年計) 有効求人倍率:

静岡 全国值+0.3以上、清水 全国值以上

- ・静岡市の日本一(産業):まぐろ 類缶詰、プラモデル、エアコン ディショナ など
- ・清水港、駿河湾といった海洋資源
- 東名、新東名、中部横断自動車 道など交通インフラの充実
- ・ 市内経済の活性化 ・ 市内の雇用創出
- ①新 I C周辺等産業集積推進事業
- ②企業立地推進·本社機能移転事業 |③海洋・エネルギー産業推進事業
- ④大手製造事業所等支援事業

4 移住者を呼び込み、定住を促進する

社会移動增:6,010人〈2015-19年〉

- ・山・川・海など自然が豊か
- ・ 気候が温暖
- ・新幹線で東京から1時間の立地 など
- ・本市への移住を促進
- ・移住者受け入れの核とな る人材を育成
- ①移住促進に向けた情報発信事業
- ②安心移住に向けた受入体制等充実事業
- ③中山間地域への移住に向けた支援事業

5 女性・若者の活躍を支え、子育ての希望を かなえる

合計特殊出生率:1.57

子どもを産み育てやすいまちだと思う市民 の割合:65.0%以上

- ・首都圏と比べて子育て環境が充 実している
- ・市内大学生による自主的な地域 境をつくる 活動が盛ん

など

- ・出生数を増やす
- ・社会全体で子育てする環
- ①「しずおか女子きらっ☆」推進事業
- ②「わかもののまち」推進事業
- ■③静岡あったか家族応援事業

6 時代に合った「まち」をつくり、圏域の連 携を深める

「週4日以上、外出している高齢者の割合:67.5%以上 総延床面積:個別施設計画策定時に設定 津波避難施設のないエリア:0エリア

建築物の耐震化:公共建築94%、民間住宅93% 静岡地区 歩行者通行量:7,010人

清水地区 滞在時間:3.0時間

- ・健康寿命が長い
- IR静岡駅周辺に都市機能が集 積したコンパクトシティである
- ・アセットマネジメントに先進的 に取り組んでいる

など

- ・健康長寿の推進
- ・総資産量の適正化
- ・巨大地震に対する減災の 推進
- ・コンパクトなまちづくりの 推進

①健康シニア笑顔いっぱい推進事業

②アセットマネジメント推進事業 ③静岡中部圏広域連携推進事業